

群馬板金広場

(群馬県シートメタル工業会会報)

2006年9月 発行

vol.12

GSMP

群馬県シートメタル工業会

GUNMA SHEET METAL PLAZA

<http://www.gsmp.gr.jp>

発行人

岡部 浩章

発行

群馬県シートメタル工業会事務局

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町342

TEL 027-362-3500

FAX 027-361-3066



ご挨拶

群馬県シートメタル工業会

会長 岩本 博

(株式会社 太田治工)

初秋の候となり、会員の皆様には益々ご健勝の事と存じます。

さて、皆様のご協力によりまして6月12日に開催されました第7回の定期総会も盛況のうちにこなされました事は、これ偏に会員の皆様方のご理解とご協力及び関係各位のご指導・ご支援の賜物と、改めて厚く御礼申し上げます。

経済は緩やかな回復基調が続き、成長が持続すると言われております。しかし2007年に始まる、いわゆる団塊世代の大量定年退職で深刻な労働力不足が心配されます。また、これを補う為に大企業の求人とも軒並み増員されているのが実情です。それでなくとも困難な中小企業の求人が、

また一段と厳しくなっております。

このような環境の変化に対応すべく人材教育は、「選抜教育」よりも「底上げ教育」が重視されるようになってきました。6月9日の厚生労働省の発表による平成17年度能力開発基本調査によりますと、教育方法であるOJT(日常の業務に就きながら行なう教育訓練)及びOFF-JT(通常の仕事を一時的に離れて行なう教育訓練・研修)の実施状況は『OJTは5割の企業が、OFF-JTは6割の企業が実施している』と共に、『企業は従業員全体の「底上げ教育」を人材育成方針として重視している』とありました。人材育成は自社＋外部併用が進んでおります。工業会会員のために企画されている(アマダ推進Gr)研修計画・アマダスクール等のご活用が社員の底上げになるものと思います。また、工業会ホームページも、皆様に親しまれるようリニューアル致しております。

結びに会員各社のご繁栄と、(株)アマダ創業60周年を機に更なるご発展を祈念してご挨拶と致します。



ご挨拶

群馬銀行専務取締役

渡邊 一正

日本製造業の強さの主要因の一つとして、高性能の工作機械と、それを使いこなせる高度な加工技術者の豊富な存在が挙げられます。群馬県シートメタル工業会が、活動の柱として、会員企業社員のスキルアップのため、人材育成に格別の力を注がれていることは、業界の磐石な礎づくりに大きく貢献しているものと、心強い限りです。

さて世界経済・日本経済とも原油・資源・環境などの問題を抱えつつも、堅調に推移しているようです。金融面を見ると、主要国の金利は、日本に比べ、おおむね高い水準です。日本もようやく預金金利の引き上げ・貸出金利の上昇が、緩やかに始まりました。金融政策に

おける金利機能回復のための第一歩とも云えます。

将来を予測することなど困難ですが、日本の経済成長率・物価上昇率などの動向を勘案しつつ、金利上昇を想定した経営戦略について、検討が必要な時期かと思われます。金利変動の既借入れから固定金利借入れへのシフトを進めたり、固定金利の長期借入れによる最新鋭の機械購入や設備増強、私募債による長期安定資金の導入など、すでに活発化してきています。また各種の制度融資の利用も、金利上昇期には、とくに有益と思われます。

いずれにしても自社の借入れ金利が、たとえば0.25%、0.5%引きあがった時に、どんな影響があり、どう吸収できるかなどを、先んじて検討しておくことが大切です。

経営の要諦は、「自社の商品・サービスの内容を、変化するお客様様の要求に的確に、タイムリーに変化させていくことだ」、と言われておりますが、これからは経営者の大きな課題として、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表に基づき、自社の財務戦略の手を打っていくことも、社業の堅実な発展に不可欠と感じています。

2005年度1月～2006年度9月 活動軌跡

2006年

平成17年度

- 1月 板金加工通信講座第一期開講
 1月14日 技能検定前学科講習（伊勢崎文化会館）
 1月24日 賀詞交歓会 第45回役員会
 （ウェルシティ前橋）
 2月 5日 技能検定学科（群馬県職業能力開発協会）
 3月 8日 第46回役員会（東毛産業技術センター）
 3月17日～19日 フォローアップ研修（朝霧スクエア）
 ～生き残りをかけた経営革新～

平成18年度

- 4月 6日 四県交流会（唐沢ゴルフ倶楽部）
 5月 9日 第47回役員会（伊勢崎職業訓練センター）
 5月11日～14日 Advanced Stage（朝霧スクエア）
 6月 2日～ 4日 リーダー研修（朝霧スクエア）
 ～職場リーダー養成～
 6月12日 第七回総会 第48回役員会
 （ウェルシティ前橋）



- 6月22日～25日 新入社員研修（朝霧スクエア）
 6月23日～24日 国内研修会（北海道）



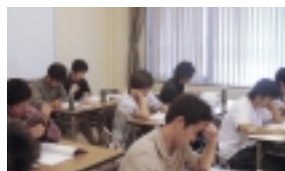
- 8月28日 第49回役員会（ひびき野）



- 8月25日～27日 パワーアップ研修（朝霧スクエア）
 ～会社の現状・今を考える～
 9月 9日 現場作業者の為の実習教育（アリギス）
 ～スポット溶接ゼミ～



- 9月16日 技能検定前学科講習（伊勢崎文化会館）



- 9月22日～24日 パワーアップ研修（朝霧スクエア）
 ～効率的な生産活動の進め方～

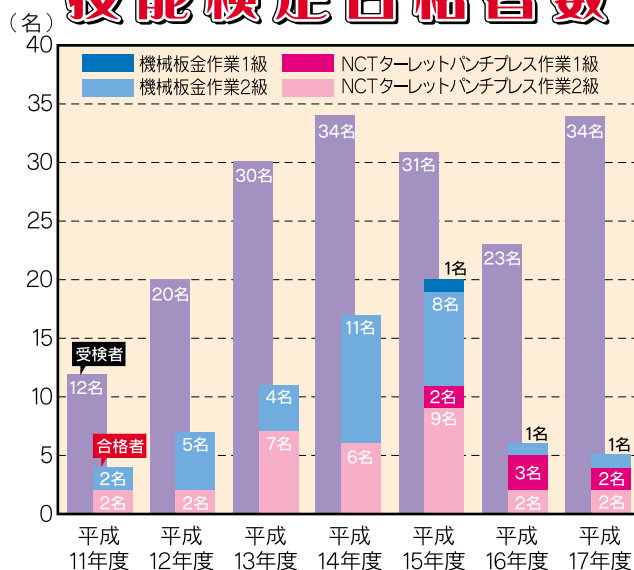
平成18年度予定

- 10月12日 第50回役員会（東毛産業技術センター）
 10月21日 若手社員教育（アマダマシン見学）
 10月21日 技能検定前学科講習（伊勢崎文化会館）
 10月22日 第8回親睦ゴルフコンペ
 （赤城カントリー倶楽部）
 10月27日～29日 リーダー研修（朝霧スクエア）
 ～人間関係とヒューマンエラー～
 10月28日 メンテナンスゼミ（NCT、金型）
 （岡部工業）
 11月 技能検定前実技講習会（未定）
 11月11日 工業会役員代表者懇話会
 （フォーラム246）
 11月18日 技能検定前学科講習（伊勢崎文化会館）
 11月24日～26日 フォローアップ研修（朝霧スクエア）
 ～生き残りをかけた経営革新～
 12月 第51回役員会（未定）

2007年

- 1月 板金加工通信講座第一期開講
 1月～2月 賀詞交歓会 第52回役員会（前橋地区）
 2月 技能検定（群馬県職業能力開発協会）
 3月 第53回役員会（未定）

技能検定合格者数



技能検定合格者



数値制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社 林製作所 **磯部勝弘**

私が今お世話になっている会社、林製作所

に入社し、タレットパンチプレスの作業を

担当する事になり、10年の月日が経ちました。この10年、板金加工の経験を一から学び自信も人並みに付きましたが、未だに壁に当たる事もしばしばで、板金加工の難しさ、奥の深さを感じます。今はAP100を使ったCAD・CAMの仕事をしているのですがこれも又、奥が深くとてもやりがいのある仕事だと感じております。そのやりがいのある仕事に携わって私が感じている事は、熟練者の持つ技術や経験を関わっている作業員全体で共有する事が大事ではないか？という事です。そこで経験や技術を若年者に伝えていく事が急務だと感じております。そこでこの度の資格をはじめ、アマダの持つ機械には技術や経験を共有出来る物が数多くあります。それらの物を上手く利用しつつ、熟練者の技術や経験を学び、自分自身の技術を磨いていきたいと思っております。

最後に、資格を取得するにあたり、この機会を与えて下さいました弊社、並びに群馬県シートメタル工業会のご支援に心より感謝申し上げます。



数値制御タレットパンチプレス板金作業
1級

株式会社 アマダ **大澤 孝**

私は、ソフトのサービスとしてお客様を訪

問し、主に、プログラムの作成からNCT、レー

ザーおよびNTベンダーのネットワーク運用を、お客様に御提案させて頂き、保守サービスを行っております。今回、技能検定の話があり、群馬県シートメタル工業会では、会長自ら技能士の育成に尽力されているということから、チャレンジしてみようと思いました。実技試験のプログラム作成は本職とはいえ、難易度の高い出題でした。NCTの加工も緊張のなか無事終わることが出来ました。学科試験は、板金加工全般にわたる広範囲での出題だったので、とても合格出来るとは思っていませんでしたが、合格通知を手にした時は、信じられない気持ちで一杯でした。今後は、この経験を生かし、ITを駆使した少数精鋭の物造りを、御提案出来るよう頑張っていきたいと思っております。検定前講習会をはじめ、群馬県シートメタル工業会の全面的なバックアップと、関係各位の御支援に心より感謝致します。



数値制御タレットパンチプレス板金作業
2級

株式会社 中沢工業所 **山口 哲男**

私は現在(株)中沢工業所で主に工程設

計及びシートワークス+AP100でCAD／

CAMの仕事をしています。かつてはタレパンのオペレーターもしていた事があるので、技能検定という資格がある事は知っていましたが、実際に受けた事は有りませんでした。この度後輩たちが数値制御タレットパンチプレス作業の技能検定を受ける事となり、私もAP100の操作法を教えるだけではなく自らも検定を受けてみる事にしました。実際に検定を受けるとなるとAP100の操作は仕事柄なるとかなりですが、検定の課題や使用する機械の操作手順、学科試験の出題範囲・傾向等は、検定前講習会や学科講習会が大変役に立ちました。

今後はこの資格を仕事に生かし又、指導者として多くの後輩たちが技能士の資格を取れるよう指導していきたいと思っております。

数値制御タレットパンチプレス板金作業

2級

株式会社 中沢工業所 **渡部 広美**

私はNCT、アペリオの配属になり5年目になります。現在は昨

年4月に導入された新型シングルパンチプレス(HMX3510)も使用しています。今回上司の勧めにより技能検定を受検する事になりました。受検時の苦労は、AP100による展開、割付でした。まったく初めての為、先輩に指導していただき覚える事が出来ました。実技試験では、常時仕事でNCTを使用している為自信がありましたが、使用した事のない機械の為、操作方法の違いに戸惑い制限時間いっぱいでしたが無事に作業を終了、学科試験でも板金以外の出題が多数有り難しく、合格しているか不安でしたが、受検に際してご協力、指導していただきました皆様方の御支援により、一回で二級に合格する事が出来ました。ありがとうございます。

今後は一級取得を目指してがんばりたいと思っております。



機械板金作業
2級

株式会社 協和工業 **窪田 秀行**

私は協和工業でNC加工を担当しておりま

す。NCの技能検定はおかげさまで2年前に

合格しました。その時は自分が受かるとは思ってもいませんでした。そして今回ベンダーの技能検定を受けることになりました。前にベンダーの経験はありましたけれど離れてから時間がたっていたので忘れていました。そこで仕事が終わってから毎日納得のいくまで練習をしました。そこで1番苦労したところは寸法が安定して出なかったことです。これで本当に合格できるのかなど不安になりました。でもおかげさまで合格することが出来ました。職場のベンダー班の人達に協力していただき感謝しております。

これからはこの資格を生かして仕事をがんばっていききたいと思っております。

新入会員紹介



株式会社エビヌマ

代表取締役
海老沼 恵也

初めまして。

自分に解決できない問題など

決して振りかかってこない

泰然と受け切れ!

この言葉を合言葉に各得意先様からの要望に対して、満足な結果を出せるように社員と共に日夜ガンバッテおります。

弊社は塗装加工業からスタートし、現在は板金→塗装→印刷→組立と社内一貫生産にて各種産業機器の部品製造を行っています。

特に表面処理加工(塗装・印刷等)に関しては得意分野であり、何かお困りの事がありましたら、何なりとご用命ください。必ず、お役に立てると確信しております。

最後になりますが、この度は群馬県シートメタル工業会に入会させていただきました事感謝申し上げます。諸先輩方のご指導を仰ぎながら、この会の発展の為、微力ながらお手伝いができるよう精進していく所存です。宜しくお願い申し上げます。



群馬日栄興業有限会社

代表取締役社長
赤石 人志

群馬日栄興業有限会社の赤石です。自社紹介とご挨拶をさせていただきます。弊社は、主に建設機械部品と、鉱山用削岩機の溶接構造板金部品を加工しております。ここ数年、加工製品の海外輸出量は著しく増加傾向にあります。高品質を維持しながらも、それに伴う短納期、低コストの要望に応える為に、社内設備全体の見直しをして新システム

導入への構想を日々巡らせております。

私は、現在気が付けば36才(S45生)になりました。18才の時から板金業に携わり、かれこれ18年間この業界で仕事をさせていただいております。その間に会った方々から数多くのものを学ばせていただきました。今後は当会を通して、各種ゼミ、講習会パワーアップ研修等に積極的に参加させていただき会社経営に役立てていきたいと思っています。

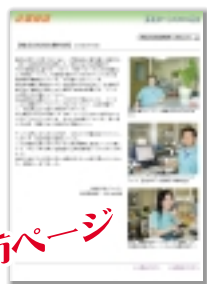
まだまだ若輩者ですので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



有限会社松見精工

代表取締役社長
原 竹雄

この度、群馬県シートメタル工業会に入会させていただきました玉村町の(有)松見精工の原と申します。これから役員の皆様をはじめ会員皆様方には、大変お世話をおかけすると思いますが、よろしく御指導いただけますよう御願ひ致します。当社は昭和50年に現在地にて創業を開始いたしました。以前から、たびたび入会をお勧めいただきましたが、県内の同業社の方とのお付き合いも無く今日に至ってしまいました。創立以来、主に医療向け理科学向けのステンレス製品を手掛けてまいりました。この業界は多品種少量はもちろんですが「こういう加工はできないか」「このように作ってほしい」などの要望が非常に多く頭をひねる物ばかりでした。そこで当社では早くからNC機械やYAG溶接ロボットなど最先端加工機械を積極的に導入し、又従業員の技能技術の向上を計ってまいりましたが、今日のめまぐるしく変化をつづける技術革新の波は一企業では乗りきれないのではと思っております。この入会を機に多くの会員の皆様方と情報交換等ができればと、切に願っております。最後に、会員皆様方の御健勝と御繁栄を心よりご祈念申し上げます、お仲間入りの挨拶と致します。



経営部会では、毎月会員企業さんを訪問し、各社の特徴をアピールし、社長の物づくりに対する心意気を多くの方に知っていただき、物づくり群馬をサイトを通じて全国へ発信していきたいと考えております。今月は、住吉製作所の橋本社長のインタビューですので、是非ご一読下さい。来月は、NCTの研修会風景をお伝えして、群馬シートメタル工業会の存在感を示していきたいと考えておりますので、ご期待下さい。

次は、皆様の会社を訪問しますのでお楽しみに、お待ち下さい。

株式会社 グンゴ 代表取締役 六本木 信幸